

事業名	天然記念物保存事業向淵スズラン群落保存管理計画等策定事業	
-----	------------------------------	--

所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)	一般会計予算
-----	-------------------	--------

事業の目的	室生区向淵にある天然記念物指定のスズラン自生南限地の保存管理計画等策定・再生事業現状調査し、長く保護していくための保存管理計画を作成することを目的とする。	区分	No.	区分名
		款	9	教育費
		項	5	社会教育費
		目	4	文化財保護費
		細目	3	天然記念物保存事業費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例 第10条	宇陀市文化財補助金要綱
-------	-----------------	-------------

総合計画	基本計画 第5章第3節 (1) 文化財の保護・活用	
------	---------------------------	--

事業の概要	当地は、スズラン自生の南限地帯にあたる貴重な群落として、昭和5年に国から天然記念物の指定を受けたが、戦後薪炭林からスギ・ヒノキ植林への移行、下草刈りや緑肥利用の減少によりスズラン生育に好ましくない環境へと変化しスズランが減少してきた、又近年はドイツスズランとの交雑が憂慮される事態となっていることから管理計画を策定する事業。 天然記念物名称 向淵スズラン群落 天然記念物所在地 宇陀市室生区向淵 (タヌキヤブ、オクシバ) 天然記念物指定年月日 昭和5年11月19日	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	1,650
		県費	495
		市債	
		その他	
		一般財源	1,162
		H23 予算額	3,307
		前年度 予算額	2,702
		増減額	605

事業の成果	平成9年度の調査の際にはタヌキヤブとオクシバ合わせて面積約500㎡で約5,500株が生育し、密度は1㎡あたり20~26株であった。平成21年度調査では、合わせて面積約217㎡で約29,000株が生育し密度はオクシバで約119株、タヌキヤブで約136株であった。分布調査・生育調査・環境測定を実施、指導委員会を開催	特定財源の状況	
		天然記念物調査再生事業費補助金(国・県費)	
事業の目標	前回の調査から10年以上経過しているため、現段階において、スズラン群落の現状を調査・把握し今後長く保護していくための保存管理計画を作成する。最終年度で環境整備工事(柵・説明板等設置)を実施		
備考			

事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業			
所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)		一般会計予算	
事業の目的	歴史的町並みの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理・それ以外の建造物の修景に対して補助金の交付を行う、伝建物以外の建造物の新築や増改築に際しても計画に定められた基準に従って周囲の伝建物と調和するよう工事が進められるこれを「修景」という、又地区内の防災施設等の整備を行うことを目的とする。	区分	No.	区分名
		款	9	教育費
		項	5	社会教育費
		目	4	文化財保護費
		細目	21	まちなみ保存整備事業費

根拠条例等	文化財保護法 宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例
総合計画	基本計画 第5章第3節 (3) 歴史・文化資源の整備と充実

事業の概要	周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を「伝統的建造物群保存地区」国は特にその価値が高いものを「重要伝統的建造物群保存地区」に選定、宇陀松山地区は奈良県で二番目に選定された。 保 存への取組として修理・修景に補助をするものである。 国選定 平成18年7月5日 指定面積17ha 事業期間 H18～	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	13,141
		県費	7,533
		市債	
		その他	
		一般財源	6,055
		H23 予算額	26,729
		前年度 予算額	25,734
増減額	995		
事業の成果	修理・修景補助については、申請いただいた物件について選定委員会を開催し、緊急度・効果の高いものの中から採択をして年間4～6件の工事について補助をおこなっている。建物が再生される過程を見た施主や周囲の住民からの評判も良く、事業への関心が高まっており、申請件数も年々増加しており待機状態が続いている状況である。又先進地研修やまちづくり講座等住民に対しての啓発活動を行っている。	特定財源の状況	
		重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金 (国・県費)	
事業の目標	重伝建地区(宇陀松山地区)は、奈良県内3箇所の中のひとつであり、後世に引き継いでいく貴重な財産であります。観光客数も年々増加傾向にあり、伝建地区の価値の向上を図っていくにあたり、宇陀松山城跡と城下町を一体的に捉え、観光面とリンクさせながら都市間・世代間交流を図り流入人口の増加を目指します。		
備考			

事業名	街なみ環境整備事業					
所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)					
事業の目的	歴史的環境の保存と住環境の整備との共生を図りながら、良好な住環境の整備を図る事業。文化財としての街なみ景観の保存と住民が居住する住宅地区で実施することが必要である。					
				一般会計予算		
				区分	No.	区分名
				款	9	教育費
				項	5	社会教育費
目	6	街なみ環境整備事業費				
細目	20	街なみ環境整備事業費				

根拠条例等	国土交通省 街なみ環境整備事業制度要綱
総合計画	基本計画 第5章第3節 (3) 歴史・文化資源の整備と充実

事業の概要	松山地区の地域の特性に応じた個性的で質の高いまちづくりを実施するための整備、道路電柱の美装・街路灯整備・公園整備・生活環境施設整備・防火施設整備等の住環境の整備改善を行う事業。 宇陀市大宇陀区松山地区 区域面積 35ha	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	10,500
		県費	
		市債	10,400
		その他	
		一般財源	995
		H23 予算額	21,895
		前年度 予算額	30,657
増減額	▲ 8,762		

事業の成果	道路の美装化・街路灯の整備 L=1,560m 公園の整備 2箇所 生活環境施設の整備 2箇所 防災施設の整備 地下式防火水槽1基 消火栓5基 を実施	特定財源の状況	
		街なみ環境整備事業補助金 10,500千円	
事業の目標	街なみ環境整備地区である宇陀松山地区は、城下町・商家町であり、重要伝統的建造物群保存地区、宇陀松山城跡と一体的事業として位置づけ、又周辺には数多くの文化財をはじめ公園施設・自然環境施設・温泉施設・スポーツ施設等があり、市民の交流を深めていく上での重要な地区であります。少子高齢化や核家族化が進んでいく中で世代間交流の果たす役割、イベント等での市民とそれ以外の方との地域間交流が重要であると考えます。	合併特例債 10,400千円	

備考	
-----------	--

事業名	史跡宇陀松山城保存整備事業					
所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)					
事業の目的	宇陀松山城は、豊臣政権のもとで大和郡山城・高取城と並ぶ大和支配の拠点として誕生。宇陀松山城跡の特徴として、城郭全域にわたって城割を受けていることである、今後の保存整備の方向性を考える場合その範囲、内容等の把握が必要である。又城割の時期、内容等が一体として把握できる非常にまれな事例であるので、将来的な城跡の整備・公開等を考慮し保存整備をしていくことが目的である。					
				区分	No.	区分名
				款	9	教育費
				項	5	社会教育費
				目	4	文化財保護費
細目	23	史跡宇陀松山城跡整備事業				

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画 第5章第3節 (3) 歴史・文化資源の整備と充実

事業の概要	宇陀松山城跡は、平成18年7月に国史跡指定を受ける、指定面積は67,667㎡であり、そのうち総石垣づくりの22,450㎡の公有化を実施している。整備範囲は公有化を行った範囲を中心に城跡への登城道部分を対象とする。宇陀松山城跡の特徴として城割を受けていることがあげられるので、遺構内容・城割の状況と範囲・石垣等の崩落箇所の保全・修復等の関係を十分に検討しながら保存整備を進めている。	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	7,000
		県費	2,100
		市債	16,200
		その他	
		一般財源	95
		H23 予算額	25,395
		前年度 予算額	15,855
増減額	9,540		
事業の成果	史跡宇陀松山城跡保存整備基本計画を基に、平成20年から10年計画で調査・設計・保存整備を実施しているところでありませす。	特定財源の状況	
		史跡宇陀松山城跡保存整備事業費補助金(国・県費) 9,100千円 合併特例債 10,400千円	
事業の目標	宇陀市のシンボルとして位置づけ、市民相互が集い、憩う場として、その活用を図る為、史跡宇陀松山城跡の測量・発掘調査を行う。天守郭周囲の石垣部分の発掘調査を実施し、内容の確認を行っている。H23は、帯郭西側、本丸南東虎口部、南虎口部約200㎡の発掘調査を実施、又天守郭・天守郭周辺部・帯郭東側、本丸跡平坦部・本丸北斜面の保存整備実施設計を実施。併せて、見学路赤砂利ルート整備も行い、伝建事業とも一体的に捉え観光振興・地域活性化を進める。		
備考			

事業名	染田天神講連歌堂保存修理事業			
所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)		一般会計予算	
事業の目的	県指定有形民俗文化財である、室生区多田にある「染田天神講連歌堂」の保存修理を目的とする。	区分	No.	区分名
		款	9	教育費
		項	5	社会教育費
		目	4	文化財保護費
		細目	1	文化財保護費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例 第10条	宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画 第5章第3節 (1) 文化財の保護・活用	

事業の概要	<p>染田天神は、室生区多田の地侍「多田順実」が南北朝時代禎治年間（1362～1368）に天神御影を感得し居館近くの染田に祀ったのが始まりと伝わる。周辺の都介郷の地侍層は、これを中心として「東山内天神講」を結び法楽連歌として以後、天神千句会が開催されてきたのである。現在の建物は従前の厨子部分を除いて18世紀中頃に旧形を引き継いで立て直されたものと思われる。</p> <p>総事業費 概算35,000千円（H23・242ヶ年事業）</p> <p>奈良県補助 60%</p> <p>宇陀市補助 約13%（上限3,000千円）</p> <p>地元負担 約27%</p>	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	3,000
		H23 予算額	3,000
		前年度 予算額	0
増減額	3,000		
事業の成果	<p>連歌とは和歌を母体として起こったもの、和歌の上句・下句をそれぞれ別人が詠み、それを何句も重ねて楽しむものである。</p> <p>指定年月日 平成元年3月10日</p> <p>江戸時代の建築と推定</p>	特定財源の状況	
事業の目標	平成23・24年度の2ヶ年継続事業とし、改修工事完了後、別途自動火災報知器等の設備設置が必要である。		
備考			

事業名	仮称ワールドメイプルパーク整備事業費	
-----	--------------------	--

所管課	公園課（建設部）	一般会計予算
-----	----------	--------

事業の目的	少子高齢化によって廃校となった旧宇太小学校や旧宇太保育所を利用し、菟田野区を「カエデのまち」として地域活性化するために、カエデや地元特産品などを販売、産業と観光を複合させ、地域の住民等と都市の子ども達が、カエデの観察・育苗などの体験学習をとおして、山村・都市交流の促進をはかり、NPO法人の活力を活用しながら交流人口の増加をはかり、衰退している地域の活性化を図る目的		
	区分	No.	区分名
	款	7	土木費
	項	4	都市計画費
	目	2	公園費
細目	2	ワールドメイプルパーク整備事業費	

根拠条例等	宇陀市古市場地区活性化計画
-------	---------------

総合計画	第1章第5節 公園・緑地の整備
------	-----------------

事業の概要	総事業費 220,000千円 事業期間平成20年度～24年度 5ヶ年計画で、寄贈を受けた世界の多種のカエデを有効活用するため、廃校となった旧宇太小学校・旧宇太保育所跡を利用し、「菟田野」に行けば世界のカエデが一同に観賞でき、菟田野区の活性化に導く取り組みや収益・集客を高める場所(都市農山漁村総合交流促進施設及び廃校廃屋等交流施設)の事業として、整備内容はカエデの植栽、遊歩道・休憩所・既設プールの修景、景観を考慮した公園的整備や観賞用・育苗用ハウス、小学校校舎の利用(研修室・資料展示室・販売スペース事務室)と、トイレ棟の活用による耐震補強の改修工事を行い、行政が管理していくのではなく、市民が主体的に活動できる地元住民団体(NPO)の組織と、市民と行政が相互に協力・連携したまちづくりを目指す事業で、農林水産省の交付金事業であります。	
	財源の内訳	
	分担金	
	使用料	
	国費	30,000
	県費	
	市債	26,300
	その他	
	一般財源	3,702
	H23 予算額	60,002
前年度 予算額	40,000	
増減額	20,002	

事業の成果	平成21年度はクラウド及び保育所跡の既存施設の撤去や基盤整備工事完了(1期目)
	継続事業のため、完了していない

事業の目標	地元やNPO法人等に多種のカエデを育成してもらい、カエデのブランド化を目指し、地域の特性を活かした農業・林業・商業などの各産業との連携を図り、隣接する宇太水分神社、みくまり桜街道、うたの夢街道、日張山他、本地域の魅力ある観光資源との複合で、地域が一体となったまちづくりを目指し、菟田野への人の流れを創出する。
	備考

特定財源の状況
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 30,000千円 合併特例債 26,300千円

事業名	文化財ボランティア養成講座開設事業	
-----	-------------------	--

所管課	文化財保存課 (教育委員会事務局)	一般会計予算
-----	-------------------	--------

事業の目的	市内には国・県・市指定文化財をはじめ、数多くの貴重な文化財が存在する。これらの貴重な文化財の保護・活用を図りまた文化財を後世に引き継いでいくために「文化財ボランティア」を養成、育成し活動を通じ歴史、文化の再認識し文化財愛護思想の高揚、地域文化財の保護、顕彰を図ることを目的とする。	
	区分	No. 区分名
	款	9 教育費
	項	5 社会教育費
	目	4 文化財保護費
細目	1 文化財保護費	

根拠条例等	文化財ボランティア養成講座実施要綱
-------	-------------------

総合計画	基本計画 第5章第3節 (4) 芸術文化活動の振興
------	---------------------------

事業の概要	ボランティア活動を通して市民のみなさまに文化財への理解と愛着を深めていただき、愛護思想や学習意欲を啓発するためにも市民と行政との協働が望まれるところです。宇陀市民で、ボランティアをしたい方・文化財に興味がある方・地域のことを学びたい方を対象に講座を開設いたしました。 7月から12月までの間、年6回開催	財源の内訳	
		分担金	
		使用料	
		国費	
		県費	
		市債	
		その他	
		一般財源	10
		H23 予算額	10
		前年度 予算額	79
		増減額	▲ 69

事業の成果	宇陀市内各区から15名の参加者があり、初年度6回、初級編として「宇陀の歴史」「宇陀の考古学」「宇陀の美術工芸・建造物」「現地研修」等の講座を実施しました。又「まがたまづくり」「こどもフェスタ」等のイベントスタッフとして参加・協力いただきました。	特定財源の状況	

事業の目標	講座としては2年継続で初級を終了し、その後中級・上級へと進んでいただきます。講座修了者には仮称「文化財市民ボランティア」として登録・認定していく予定です。将来的には「指導ボランティア」「運営ボランティア」「活動ボランティア」等専門分野で活動していただく予定です。
-------	---

備考	
----	--